

議案に対する質 疑

五月臨時会

低入札で落札！防災行政無線工事

問

- 一・低入札価格調査委員会での価格はいくらであったのか。
- 二・業者名と入札価格は。
- 三・二年間での工事内容と金額は。

答

- 一・最低調査基準価格は公表していない。調査基準価格を下回ったものが八社中七社あり、一社は判断基準を満足しないため失格となった。
- 二・沖電気工業株式会社四国支社 四億九千七百万円、日本無線株式会社四国支店 五億九百五十万円、日本電気株式会社松山支店 五億千六十七万三千元、パナソニックS Sエンジニアリング株式会社四国支社 五億四千七百万円、株式会社東芝四国支社 五億

九千五百六十万円、三菱電機株式会社四国支社 六億八千三百八十万円、株式会社日立国際電気四国支社 六億八千六百八十一万六千元、株式会社富士通ゼネラル四国支社 七億六千九百九十万円である。

三・十九年度の繰越分と二十年年度の事業で、十九年度に計画していた本庁地区の同報系無線の整備と中山地区の同報系デジタル防災行政無線の事業で、平成二十一年三月までに完了させたいと考えており、消費税込みで五億三千四百九十七万五千元になる。

問

設計業者から提出された仕様書は、あるメーカーに偏っており、完全にフラット化できていなかったのではないか。

答

設計の段階から、この事業に多くの業者が参画できるように、仕様書をフラット化するよう、設計業者には再三にわ

たりお願いをした。これ以上というところまで業者にはお願いをしており、この信頼関係の中で行っているの、意図的にそういうことをしたのではない。業者との信頼関係で提案している。

問

双海地域でのデジタル対応での対策は。

答

現在整備されている全戸アナログ戸別受信機については、双海地区の広報区長会の皆さん方の意見を聞く中で決めている。基本的には、まだ新しい設備なので使える間、継続として使いたい。地域でのコンセンサス（合意）をとる中で方向を出していきたい。



双海地域で使用されている戸別受信機

老人ホーム棟の有効活用を

問

老人ホーム棟の今後の有効活用策は。

答

現在、具体的な案は持っていませんが、有効活用を考慮しており、指定管理者等と協議を行い、早ければ九月議会に提案したい。

ウェルピア伊予の指定管理者が決定

問

一・Fun Space（フアンスペース）株式会社を選定した理由は。

二・十年の指定管理期間について

三・今後、一般会計からの繰出しはあるのか。

四・経理の監査はできるのか。

答

一・五社の申し込みを受け、九名の審査委員による公平性、効果・効率性、安定性、利益



ウェルピア伊予・老人ホーム棟

還元、貢献性の五項目につき各二十点で、九百点満点での審査を行い、一位は七百十八点でFun Space（フアンスペース）株式会社となり選定した。

二・施設を引き継いだ時点でスタッフの約六割が伊予市民であり、雇用の状態、身分の状態が不安定な状況を避けるためと、施設を最低十年間は現状の機能を存続させたいことなどから十年とした。

三・基本的にはないが、大規模修繕、リニューアル等に対し、臨時的な投資はある。

四・必要ならば、外部監査の制度もあり、専門家による経理状況の確認、精査をしたい。